



令和3年5月号 Vol.45
情報メディア教育センター



5月。新緑と花々が輝いて、五月晴れもあり、気持ちの良い季節ですね。

そして、新茶の季節。最初に発酵させる紅茶や中国茶、薫り高いハス茶やそば茶も美味ですが、さわやかな香りの新茶の緑茶は格別だなと感じます。新芽を摘み取るこの時期だけの貴重な新茶は、飲むとその年は無病息災で過ごせるとか、長生きできると言われているそうです。全国第3位のお茶処三重の美味しい新茶で心身ともにリフレッシュも良いですね。



新しい司書が入りました

はじめまして。お茶と米と息子のことが好きな津田です。

休みの日は Spotify で曲を聴きながらミシン、もしくは砂場で穴を掘っています。京都、西宮の大学図書館でレファレンスや相互利用をしていました。レファレンスって、相互利用ってなに！？という説明は後ほど。

みなさん、書評を読みますか。身近なところでは日曜日の新聞に載っている、本を紹介する短い文章、鈴鹿市立図書館の柱に貼ってあるあれです。ある日、中日新聞の書評のひとつが目にとまりました。

行司千絵『服のはなし：着たり縫ったり考えたり』岩波書店、2020年

著者は、平日は新聞社に勤め、週末になるとダイニングテーブルにミシンを持ち出して、自分や母親、友人の服を縫う人です。あくまで趣味だからとできあがった服にタグをつけない、つまりハンドメイド作家と名乗らないところに共感し、読んでみたくになりました。ケチなので書店には行かず、まずは近所の図書館で予約。なんと7人待ち！すぐには順番がまわってきそうにないので、同じ著者の違う本を探すことにしました。

まずは国立国会図書館の蔵書検索。なぜか。納本制度により、日本で一番多く本を持っている図書館だからです。平日は一社員の著者だけに、著作は多くありません。その中で、「うちのふく」という本を読むことにしました。



行司千絵『うちのふく：世界で1着の服』フォイル、2015年

さて、どこで借りよう。先ほどの国立国会図書館も持っていますが、届くまでに時間がかかりそう。ならば、自宅近くの鈴鹿市立図書館は？残念ながらなし。三重県で一番多く本を持っているような三重県立図書館は？こちらもなし。では県内の公共図書館は？県立図書館のサイトでは県内すべての公共図書館をまとめて調べることができる横断検索という機能があったのでこれを使います。菟野町図書館をはじめ、いくつか持っているところがありました。貸出中でもない様子。この情報をメモして鈴鹿図書館に行き、カウンターの人に相談します。その場で申し込みをして取り寄せ、後日無事に読むことができました。しかも、館外持ち出し可、期間は2週間と近所の図書館で借りるのと同じ条件です。ひとつの図書館が持っている本には限りがあります。だから図書館間のネットワークを持ち、よりたくさん本を利用できるように協力しているのですね。



ちなみに書店で買ったのでしょうか。参考までに調べてみると、2015年発行のこの本、すでに絶版で新しいものは手に入らないようです。Amazonでは定価1700円のものが中古品で5658円で売っていました(2021年4月18日現在)。出版不況が叫ばれる昨今。今買わないと買えなくなる。そんな本も多いのかもしれない。

ところで最初に述べたレファレンスと相互利用という言葉を知覚しているでしょうか。今回のケースでいうと、その著者にはほかにどんな著作があるか、どこにあるか、どんな条件で利用できるか等の調査をするのがレファレンス。図書館間のネットワークを使って、本を取り寄せるのが相互利用にあたります。(見たい箇所が特定できれば、コピーを取り寄せるという方法もあります。)

簡単な例でご紹介しましたが、図書館のカウンターの人、ただパソコンをピッするためにはありません。また、書店でみかけて読んでみたいけど、買うには高いなあと感じる本、情報メディアセンターにありますよ。司書とEMCのかっこいい建物とたくさん本やDVDがみなさんのお越しをお待ちしています。(津田)



新着図書ピックアップ



『旅する54字の物語—超短編小説で読む47都道府県』

氏田 雄介【編著】

ご存じ「54字の物語」の新作。EMCにも「意味がわかるとソクソクする～」がありますが、本書は「旅する～」で47都道府県の地理、名物、観光などを紹介しています。が、タダの紹介文ではありません。そこはかたなく謎めいていて、ちょっと怖いのもあって、シリーズのテイストは維持されています。でもまあ、日本のことお勉強しながら、旅行した気分になれるかな。「これは何県のことだなあ」と推理しながら読んでみよう。

それではここで問題！次の54字、どこかわかりますか？

- 今年は八百万の神も一斉には集まらない。県をまたいでの移動は自粛し地元だけで開催。「結局いつものメンバーだな」(本文より)(大塚)



『新版 奇想の系譜』

辻 惟雄【著】



美術史家・辻 惟雄氏(1932年-)が、今から半世紀前の1970年に著した本書。若冲をはじめ、それまで傍流扱いされていた画家たちに焦点をあて、「奇想」という概念のもと、江戸絵画史の重要なひとつの系譜として位置づけることで、美術史研究に新しい視点をもたらし、ざっくりいうと若冲ブームの火付け役みたいな本です。

繊細、上品といった日本画のイメージを覆す強い色彩、エキセントリック、幻想的、グロテスクなどと形容される絵画たち。今回の新版ではそれまでの文庫版、旧版にはない大量のカラー図版と、当時から約50年間の間に判明した新たな発見が各章に「あとがき」というかたちで加筆されています。

また、三重県立美術館では「若冲と京の美術—京都細見コレクションの精華」展が開催中(5月23日まで)です。あわせてどうぞ。(津田)

『考えの整頓 ベンチの足』

佐藤 雅彦【著】

本書は、日常のごくごく普通の出来事や会話から、「妙」な瞬間を見つけ、考える、その面白さが書かれたエッセイです。俯瞰して見るだけでなく、見方を変えるとというのはこんなに面白さを生んでくれるのかと考えさせられました。著者は、NHK ピタゴラススイッチなどの監修を行う現東京藝大教授で、湖池屋のスコーンやバザールでござーるなどのCMも手掛けた方です。表紙はあの十本アニメのような絵ですね♪。隣の席に座った小学生の一言、私はまだ気になっています。過去の著書も図書館にあるので、興味ある方はチェックして下さいね。(大原)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

待ち時間には本を読むこともある 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.39

『漫画 バビロン大富豪の教え「お金」と「幸せ」を生み出す五つの黄金法則』

ジョージ・S・クレイソン【原作】



5月の開館予定

5月	
1 土	休館
2 日	休館
3 月	休館
4 火	休館
5 水	休館
6 木	8:10-17:50
7 金	8:10-17:50
8 土	休館
9 日	休館
10 月	8:10-17:50
11 火	8:10-18:50
12 水	8:10-18:50
13 木	8:10-18:50
14 金	8:10-18:50
15 土	休館
16 日	休館
17 月	8:10-18:50
18 火	8:10-18:50
19 水	8:10-18:50
20 木	8:10-18:50
21 金	8:10-18:50
22 土	休館
23 日	休館
24 月	休館/館内整理
25 火	8:10-17:50
26 水	8:10-17:50
27 木	8:10-17:50
28 金	8:10-17:50
29 土	休館
30 日	休館
31 月	8:10-17:50

先日、本屋大賞 2021 の対象作品が発表されましたね。EMC では、毎年本屋大賞の特設コーナーを設け、そこで予想大会なるものを開催していました。そこですよ、みなさんの予想の参考になるように EMC スタッフの予想を公開していたんですが、ただ一人大賞作品を当てたスタッフがいたんです！誰だと思います(°д°)??

これほど前フリが長ければお気づきかと思いますが…(笑)

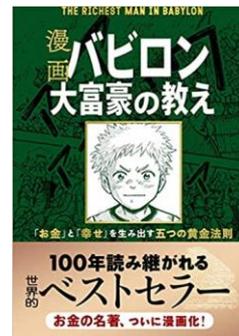
そう!“私”なんです(*_*)！司書長を差し置いて…何たる快挙！来年度の本屋大賞 2022 の予想大会は是非私の予想に…と調子に乗ったことを言っはなりません！何事も“謙虚な心”を忘れていきません。いけないいけない(;’▽’)

さて、今回紹介する図書は、1926 年にアメリカで出版され、100 年近く経った今もなお読み続けられているベストセラー『The Richest Man in Babylon (バビロンいちの大金持ち)』を翻訳、脚本、漫画化したものです。「お金」にまつわるお話。

お金を稼ぐ = 働く、お金を減らす = 消費する、まあ誰でも知っている当たり前のことですよ。では、お金を増やす = ○○、○○に入ることを即答できる人はおそらくいないかなと思います。(ギャンブルは抜きですよ) これだけはハッキリ言えます。お金の増やし方は、学校では教えてくれません！ってことは、自分自身でお金を増やす知識を身につけなくてはならないってことです。ぶっちゃけ、お金を増やす知識を身につけなくても人生何とでもなります。ただ、稼いだお金 = 自由に使えるお金 だと、できることや買えるものに限界がありますよね…。(サラリーマンである私が実感しています) 今の稼ぎでは、フェラーリなんて夢のまた夢…。トミカのフェラーリが関の山です orz。

しかし、実際、今の世の中 お金を増やすことができるモノで溢れかえっているのが事実です。なぜ、増やせないか? 「知らない」からなんです。「お金」についての知識を得るのは早いに越したことはない！中学生で知るの全然アリだと私は思います。まず、本書で第一歩を踏み出してみませんか?

『漫画 バビロン大富豪の教え「お金」と「幸せ」を生み出す五つの黄金法則』



第 37 回 落合 嗣博先生おすすめ

『16 歳の教科書』なぜ学び、なにを学ぶのか

7 人の特別講義プロジェクト & モーニング編集部【編著】

4 月 25 日再スタートのドラマ「ドラゴン桜」の原作はマンガで、それを読むのもおもしろいでしょう。しかし、公式副読本というのがあります。それが「16 歳の教科書」。僕たちはなぜ、勉強しないとイケないのか? いったいなにをどう学べばいいのか? 大学に行く意味なんてあるのか? かつて 16 歳 (高校生) だった各分野の著名人たちが、君たちに本音で語る。16 歳で無くとも、読んでみる価値はあります。ちなみに「16 歳の教科書 2」もありますよ。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンほどなたに渡るかな?

5月の特集:「自分ってどんな人?」&「Book ツアー」

「自分ってどんな人?」誕生日、血液型、手相、心理テスト本 etc たくさん展示してますよー!

あなたは自分のことどれだけわかっていますか?

もし自分でも気づいていない秘められた才能や性格があるならば、知りたい…。

好きな人との相性とかなんかも、もしわかるのであれば確かめたい…。

それなら!今月の特集、誕生日、血液型、手相、心理テストなどで「自分ってどんな人?」

か探ってみよう。実はこのシリーズ、大人気なんですよ。

自分を再確認、そして意外な自分を発見するきっかけになるかもしれません。占いや心理テストがすべて当たっているわけではないと思うけど、いいことが書いてあるとなんか元気が出てきます。納得いかなければ「その通りにはならないぞ!」って思えばいいんだしね。



「Book ツアー」に行ってきました!

昨年度3月に行われた中1のビブリアバトルで入賞したチームの皆さんが、書店で本を選んでくる「Book ツアー」に行ってきました。場所は四日市の「メリーゴーランド」という本屋さん。ちょっと変わった店長さんのお話をうかがったあと、店内でみんな自由に本を選びました。その時選んでくれた本を2階カウンター前の書架で展示中です。ポップも書いてくれました。ぜひ見に来てくださいね。



Emc
Navi

4月より新しい雑誌3誌が加わりました。2Fブックラウンジ雑誌用書架で。(館内閲覧)

月刊 日経エンタテインメント	お待ちかね!映画・音楽・本・演劇など、すべてのエンタテインメントの流行情報誌。今、何が流行っているのか、次にブレイクするのは? 知りたいこと満載です。
月刊 ナショナル ジオグラフィック	新聞やテレビではほとんど目にするのでできない「地球の今」をルポルタージュと驚異の写真で紹介。世界中に読者を擁するクオリティ・マガジン
月刊 日経サイエンス	最先端の科学をわかりやすく。物理学、宇宙、地球科学、医学など幅広い分野をカバーしています。米国「SCIENTIFIC AMERICAN」誌の日本版。



図書館からのお知らせ

- 6/14(月)~6/18(金)まで蔵書点検を実施します。完全閉館(立入禁止)となりますのでご注意ください。
- もうすぐ中間テストが始まります。スタディルームはテスト期間中も大人気です。
- 1週間前から予約可ですので、早めにカウンターで申し込みをしてください。

編集後記 風薫る季節になりました。一年生の人たちがカウンターに大勢来てくれて、賑やかな日々。EMCを思いっきり使ってね(大塚)

